



国際交流員マシアスのコラム

フランスとドイツの友情



先月、友好都市や競争都市について紹介しましたが、それと同じように必ずパートナー国またはライバル国があります。私の出身であるドイツとその隣の国フランスは、約二百年もの間、ライバルどころか敵同士でした。かつて強大であったフランスに対抗するため、小さな国々が連合して生まれたのがドイツです。そのエピソードからも、いかにフランスとドイツが敵対意識を持っていたかがわかります。しかし、1993年にヨーロッパの数多くの国々の間で、平和と協力のためにEU（ヨーロッパ連合）が設立され、そのおかげでフランスとドイツの間に深い友情が育まれてきました。

今日、EUは28か国という多くの国で構成され、様々なレベルで相互に協力しています。協力する意志が結束を強め、そしてお互いの信頼に結び付いています。特に、フランスとドイツの間の友情は、国家間の連携・協力のロールモデルとなっています。

第二次世界大戦後、ヨーロッパ最大の国であるフランスとドイツは、平和と安定のために過去の敵対行為を克服し、持続可能な未来のために共に協力し始めました。お互いにとってより良い社会を創るために、未来を担う人材の育成はとて大切で、それを目的として設立されたのが独仏青年局であり、相互の青少年の交流を促進する役割を果たしています。その結果、ドイツではフランス語が高校の第二外国語となっています。私が通っていた高校もフランス語が必須科目でした。

そのフランスとドイツの間の青年交流プログラムの成功が、他のあらゆる分野での協力の発展に繋がりました。1998年の仏独金融経済審議会設立による仏独間の経済協力の強化が一つの例として挙げられます。最終的には、EUの拡大と並行して、フランスとドイツから広がった協力の輪は、フランスとドイツの連携は、ヨーロッパ連合の重要な要素であり、ヨーロッパ内の平和の象徴となっています。

国際交流員イベント第5回 「マシアスの町遊び」

フランス料理教室

今回のイベントでは、ドイツの隣の国、フランスの料理を作りましょう。皆さんやっぱフランス料理はおしゃれだと思いますよね。幸運なことに栃木県には素晴らしいフランス料理の先生が住んでいます。私と同じ国際交流員で、那須塩原市で働いているフランス人のアリス・パッキエさんです。今回はアリスさんと一緒に、フランスの定番料理であるキッシュと、ブフ・フブルギニョンという牛肉の赤ワイン煮を作ります。

この料理教室で、誰もが美味しいフランス料理を作れることがわかりますよ！

■日時 3月7日(土)
午前10時～午後1時頃

■場所 さらら館 調理室
(下野市下古山1220)

■定員 20名

■参加費 国際交流協会会員 1,200円
一般 1,500円

※小学生以下はそれぞれ半額ですが、保護者同伴でお願いします。

■持ち物 エプロン、持ち帰り用のタッパー

■申込期間 3月6日(金)まで

■申し込み・問い合わせ先
下野市国際交流協会事務局
(市役所生活安全課内)

☎(40)55555
✉shimotsuke@gmail.com

国際交流員イベント第6回 「マシアスの町遊び」

「イースターが知りたい!人気のイースター・エッグ・イベント」

イースターは、キリスト教最大のお祭りであり、ドイツ語でOstern(オースターン)と言われます。イースターに関する最も有名な習慣にイースター・エッグがあります。これは、復活祭の時に、殻に鮮やかな色を塗り、美しい包装をしたゆで卵などを出す習慣です。ゆで卵の他に、生卵の中身を出した殻も使います。絵の具で染めて、糸を付けて家の中に飾ります。

3月8日の下野薬師寺跡史跡まつりの会場で、イースターエッグを作るイベントを開催します。みんなで作りましょう!教えるのは私、国際交流員のマシアスです。お子さんはもちろん大人の方も大歓迎ですよ!

■日時 3月8日(日)
午前9時30分～(雨天中止)

■場所 下野薬師寺歴史館
ふるさと歴史の広場

■定員 なし
(下野市薬師寺1636番地)

■参加料 無料(卵は1人2個まで)
※卵の数に限りがあるため、ご了承ください。

■問い合わせ先
下野市国際交流協会事務局
(市役所生活安全課内)

☎(40)55555
○史跡まつりに関する問い合わせ先
文化課 ☎(52)1120

携帯電話
市ホームページ

■人口と世帯 (2月1日現在)
人口 / 60,221人 (-14)、男性 / 29,967人 (+2)、女性 / 30,254人 (-16)、世帯数 / 22,583世帯 (+16)



PC・スマホ
市ホームページ



TAKE FREE

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアを募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課 ☎0285(40)5550 情報広報グループまでご連絡ください。